

春闘はどこへいく

基本構想は危機感のあらわれ

1日、連合は、19春闘中央討論集会を開き、10月18日に開催した中央執行委員会で決定した基本構造について意見交換をおこないました。集約として、ベースアップ要求は「2%程度を基準」とする案を提示しました。定期昇給分の2%と合わせると「4%程度」となり、過去3年と同じ水準です。ベア要求は6年連続となります。

神津会長は記者団会見で、「経済成長にもそれなりに寄与する数字だ」と語りました。

連合は、11月中旬の中央執行委員会で具体的な要求水準も盛り込まれた方針案を提示し、同30日の中央委員会で最終方針を決定する予定です。

9月13日、トヨタ自動車労働組合（組合員約6万9千人）は愛知県豊田市で定期大会を開き、19年春闘でベアに相当する賃金改善分の具体的な要求額を提示するかどうかを含めて交渉の方法変更を検討するなどの運動方針を決定しました。

9月14日、全トヨタ労働組合連合会（トヨタ自動車グループの317労組で構成）の鶴岡光行会長は、盛岡市内での定期大会前に記者会見し、19年春闘に関し、「ベアだけに焦点を当てる取り組みが本当にいいのか」と述べ、統一要求をベアに傾倒しない形に見直す考えを示唆しました。

全トヨタ労連は18年春闘で、ベアに相当する賃金改善分として、月額3000円以上を統一要求しました。トヨタは定期昇給や新設する手当を含めテレビ全組合員を対象に平均3.3%の賃上げを回答しました。しかし具体額は非公表でした。正社員はベアが前年実績を上回ったといわれています。

鶴岡会長はトヨタのベア額非公表について、「格差是正に取り組む中、労使が話し合っただけの講じた取り組み」としたうえで、「全トヨタ労連として理解を示したい」と語りました。

連合は10月18日に開いた中央執行委員会で、19春季生活闘争方針の検討のたたき台となる「2019春季生活闘争基本構想」を確認しました。ベアを求める方針を示しましたが、具体的な水準の明示は先送りしました。

基本構想は、賃上げ要求の組み立てについて「社会全体に賃上げを促す観点での要求」と「中小組合・非正規労働者の社会的横断的な水準確保に向けた要求」の二本立てとするを提起し、基本給を一律に引き上げるベア率を要求の前面に掲げる方針を見直し月額賃金の具体額をより重視し、中小企業の待遇の底上げを狙う「賃金水準を追求する闘争の強化をはかっていく」と絶対額での水準改善の波及強化を狙うとしました。

基本構想は、これまでの春闘の取り組みで賃上げ獲得組合が増加するとともに、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」は「一定程度浸透するなど成果を上げてきた」と評価します。「しかしながら社会全体を俯瞰した時、この成果の社会的波及機能が十分に働かなかったこともあり、企業規模間・雇用形態間などの格差は依然として縮まっていない」として、労働組合がない企業で働く労働者への波及効果や、大手と中小との間や正社員とパートタイム労働者などの間における賃金格差の解消においては成果が依然として不十分である点を課題としてあげました。

そのため基本構想は、春闘の「けん引役」としての「実行力、すなわち、現存する課題と変化への対応力に磨きをかけていく」て、春闘の形を「再構築していく」と強調しました。

18日会見した神津会長は、19年春闘で基本給を底上げするベアについて、「やらないことはあり得ない」と述べ、6年連続で求めることを表明しました。そのうえで要求の組み立てを変更することについて、「上げ幅の数字だけが目立つのはいかがなものか」などとかたり、賃金の絶対額における格差の現状にも世の中の目を向けていきたいと強調、従来と異なり具体的な要求水準を同日発表の基本構想に盛り込まなかったが、闘争方針を決める11月末までに示す方向と表明しました。

トヨタに媚びる連合

連合の危機感がにじみ出ています。

まず、18春闘においてトヨタ自動車と労組は賃上げ額を公表しませんでした。会社は今後の展望を説得（恫喝）して危機感を煽りました。自動車業界は電気自動車など技術革新がすすみ、さらに競合が続きます。また輸出においては他製品の輸入とのバーターを含めた貿易摩擦も生じかねず、確実性が保証されません。営業利益はそのまま純利益というわけではなく、交換レートなどで大きく変動する帳簿上のものでもあります。

しかし純利益は確かにあり、それを生み出したのは労働者です。

春闘の主人公はだれなのでしょう。労組の姿勢は屈服で、会社の労務部の役割しか果たしていません。

トヨタが賃金を明らかにしなかったのは、関連会社の格差を是正するためではありません。トヨタ関連会社全体の賃金をオブラートに包んだのです。そでは新たな成果主義（業績主義）、“働き方改革”が登場していることも考えられます。

トヨタ労使の18春闘における対応は、春闘構造から離脱するという宣告で、19春闘以降も非公開を続ける方針を表明しています。トヨタは世界のトヨタとして政府や経団連からも距離を置き、干渉を拒否して独自の（勝手な）路線をとろうとしています。

このようななかにあつて連合はトヨタの春闘構造からの離脱を阻止する対応を迫られま

した。そのため「数字ありきの議論を避ける」のが狙いといってベア要求について具体的な水準を先送りしました。

一律の上げ幅を中心に据えた従来手法では、大手企業と中小との格差は是正されないという実態があり、拡大を続けています。このことを容認し続けると未組織の労働者からもそっぽを向けられます。

中小企業だけでなく労働条件はなかなか改善されません。

連合は「働き方改革法案」の国家審議でも政府のいいなりでした。裏取引をして反感を買いました。そのなかで明らかになったのは、支援正当である国民民主党と立憲民主党の溝です。そもそも基本的政策は大きく違いますが連合は国民民主党に近いです。「働き方改革法案」の採決においては、最終的に国民民主党は付帯決議をつけるということで採決に応じ、政府の強行採決を回避することに協力しました。というよりも連合の本音は政府と同じでそこに国民民主党を巻き込みました。

2つの政党の共通基盤はなくなりつつあります。

中小企業の労組には大手企業の労組に利用されているだけという不満があります。さらに連合傘下の労働組合にもさまざまな不満が蓄積しています。その中で連合を中心に一体感を作り出そうとした政策が今回の要求案です。そこに未組織の労組をも巻き込もうとした。

「官製春闘」反感「産業報国会」

安倍晋三首相は2013年から5年連続で経済界に賃上げを要請しました。「官製春闘」です。昨年10月にはデフレ脱却に向けて「3%の賃上げ」と初めて具体的に求めました。

「官製春闘」は労働者のことを考えてのものではありません。企業に生産性を向上させ、労使一体となって外国企業と競争できる力を付けて突撃させ、それで経済力を高めるという指令です。戦時中の「産業報国会」のような状況を作り出そうとしています。介入することで期待する労働者も登場します。しかしそのことで労働組合の弱体化が進んでも政府は困りません。

トヨタの姿勢は、グローバル化が進む中で「官製春闘」の推進と共通のものがあります。

トヨタの離脱が、関連・系列会社が海外にもたくさんあり、国内だけでベア、労働条件を議論している状況にないということならまだ理解できます。しかしそうではなく、海外の労働者の状況を見捨てた利潤追求の施策がとられています。

他社と共存するのではなく、本社を中心に独自の路線を歩むという宣告です。関連会社に対しては自分たちの支配におくという宣言です。そのためには、春闘構造も迷惑だし、労働法制の規制もそうです。

19日、菅義偉官房長官は、経団連幹部との懇談で、19年春闘に関して数値目標には言及しませんでした。「企業収益は過去最高だ。来年の消費税の引き上げを踏まえて皆さんにはひきつづき一層の努力を期待したい」と賃上げを要請し、「これからの3年で、デフレ脱却と経済の好循環を確かなものにしたい」と強調しました。

経団連の中西宏明会長は会合後、「(消費税増税で)消費が縮むようなことを避けたいのは経済界も同じだ。日本の賃金はずいぶん低く抑え続けられてきたという自覚は持っている」と記者団に語りました。

24日、経団連中西宏明会長は記者会見で、「政府は経済環境や国際水準に照らし、日本の給料は低いのではないかと考えている。これは経団連も同じ見方だし、経営者はいつも、(従業員が)従来の処遇でいいか考えている」と発言しました。

そのうえで、政府主導で経営側の賃上げ回答が続いているとの評価に不満を表明し、「官製春闘と呼ぶのはやめてほしい」と訴えました。官製春闘では自分たちの立場がなくなります。

しかし連合はもっと深刻です。傘下の労働者のためではなく、自分たちの社会的位置、名誉、専従者の生活の糧を考えるなら現在の構造を死守しなければなりません。組合員を増加するためのターゲットが組合費を納入する対象としての非正規労働者です。

本当に非正規労働者のことを考えるならば、まず、格差など表現できない賃金差の是正を抜本的に改善する政策を要求していく必要があります。さらに処遇の改善も必須です。

しかし正規労働者は自分の賃金アップには関心を示しても非正規労働者の置かれている労働条件には関心がありません。

かつて春闘は、賃金だけでなく、労働者・労働組合が共通の課題を掲げ、世論に訴えかけながら企業に処遇改善を要求して迫った社会的闘いの場でした。

連合だけでなく、労働組合が強化されるためには、正規・非正規労働者の区別なく、人権・人格権、尊厳を確保、保障させる闘いを含めて社会を変える運動体と変わっていく必要があります。